

児童の読書意欲向上のために
～関係機関と連携した読書指導～

田村市立都路小学校

1 はじめに

本校は、古道小学校と岩井沢小学校が統合して4年目である。児童数は44名の小規模校である。『未来を創る 人間性豊かな 都路っ子の育成』を教育目標に、「自ら進んで学ぶ子ども」「やさしく思いやりのある子ども」「根気強くやりぬく子ども」の育成を目指している。

豊かな自然の中で育った都路の児童は、明るく活発で、休み時間は校庭で外遊びをする児童が多い一方、図書室や教室で読書をして過ごす児童の姿はあまり見られない。

2 研究の目標

関係機関と連携し、本に親しむ環境を整えることにより、児童の読書意欲を高める。

3 研究内容と実践

(1) 本に親しむ環境づくり

①朝の読書

- 実施時間：8時10～20分 10分間
- 月に1～2回程度、校内職員・ALTが輪番で各学級を回り、読み聞かせを行う。



②選書体験ツアー

- 実施月日：12月24日(木)
- 実施学年：情報委員会の4～6年生 計5名
- 内容：児童が図書室に配架したい本を自分たちで選書し、購入する。
- 購入場所：石川屋



③校内環境

- 学級文庫の配架（各学年の教科書に載っている本、発達段階に応じた本の配架）
- 動きのある図書掲示（自由研究などの学習や季節に合わせた本、おすすめの本の掲示）
- 図書室に行きたくなくなるような図書室前の雰囲気づくり



(2) 関係機関との連携

①学校支援ボランティアの読み聞かせ

- 実施回数：年間6回
- 実施学年：全学級
- 内容：民話や紙芝居などの読み聞かせ



②学校図書館支援スタッフの活用

- 授業の支援（関連図書の配架、教材作り等）
- 情報委員会活動の支援
- 図書館利用における指導
- 掲示物の作成
- ワークショップ
- 選書
- 書架の整理
- 本の修理・廃棄
- 本の貸し出し
- 図書だよりの発行

授業の支援

（3年国語科 「組み立てをとらえて、民話をしようかいしよう」）



本と国名が書いてある世界地図。飛行機や船に子どもたちが乗っている。



世界の民話を読み、スタンプを押して、国旗のシールを貼って、読書パスポートにした。



世界の民話・昔話を読み、面白さを見つけて伝えるという学習。世界の民話を読んで面白かったところを、パスポート形式の記録用紙に記入した。児童は、世界を旅しながら読書をしているという、わくわくする設定により、たくさんの本を読むことができた。学校図書館支援スタッフの協力により、世界地図や各国の国旗などを作成し、席旅行の気分を感じることができた。

4 研究の成果

今までに読んだ本を踏まえ、新しい分野の読書に意欲的に取り組む児童や、内容を深く読み込むことができる児童が増えてきている。担任や、図書館支援スタッフにおすすめの本を聞いたり、紹介された本を読んだりするなど、読書意欲の向上が見られた。

5 今後の課題

現状では家庭との連携があまり図れていない。次年度以降、長期休業中に親子読書を実施し、家庭と連携してより一層児童の読書活動の充実に向けて励んでいく。